

令和元年7月1日

各町内会長 様

大井地区連合町内会長 萱野英憲

太陽光発電所施設設置計画反対活動の経過について(報告)

平成29年7月15日リニューアブル・ジャパン株式会社から福祉交流プラザ大井で説明を聞き、里山の土石流の恐れがある場所に設置することに反対をしてきました。多くの方から反対署名もいただきありがとうございました。

あれからどうなったのとの声もあり、改めて町内の皆様にこの2年間活動をしてきた概要を報告させていただきます。

<リニューアブル・ジャパン株式会社>

東京都虎ノ門一丁目2番8号

代表取締役社長 眞邊勝仁

岡山事務所 岡山市北区野田三丁目1-18 安田ビル5階

○平成29年7月15日太陽光発電所計画説明会……福祉交流プラザ大井

計画では足守・大井・粟井の里山に

系統連系容量 60,000kw

利用面積 1,860,600㎡(パネル設置面・法面・調整池など)

パネル設置面積 779,700㎡(パネル総数275,880枚)

工事着工(予定) 平成30年6~7月

運転開始(希望) 平成31年11月 などの説明がありました。

※計画地は過去に六谷池決壊、幸田池の崩壊があり甚大な被害があった場所です。



建設予定地 (玉南から佐古にかけての尾根上)

山の向こう側 玉南→足守山下 西町→足守余町・岡 百田→総社市奥坂・後原
鬼ノ城ゴルフ場

○平成29年9月15日 反対決議書を手渡しました。
会社＝地元の要望を真摯に受け止め対応したい。



令和元年6月30日現在、縣市及び町内会に対して会社の動きはありません。

＜岡山県＞に働きかけ

○平成29年8月17日 反対要望書提出

○平成29年 9月8日 反対決議書提出

県治山課になぜ反対するか説明したうえで反対決議書を渡しました。申請書を受付される備前県民局へも経過説明と太陽光発電所設置計画反対決議書(写し)を手渡しました。

○平成29年11月17日 請願書提出



農林部長に隣地の開発許可をしないよう請願書(反対署名 1,441名)提出しました。

○平成29年12月26日 反対決議書(反対署名1,202名：累計2,643名)提出

○平成30年 6月11日 陳情書提出



在籍していた治山課長に陳情書を手渡しました。

H29. 11. 17 1,441人

H29. 12. 26 1,202人

今回 2,876人 (累計6,519人)

○平成30年6月29日 岡山県議会



裁決

継続審査に対する反対討論が行われましたが、継続審査になりました。

○平成30年9月21日 反対署名簿(844名：累計7,363名)提出

○平成30年10月4日 請願陳情審査結果通知(議長名)採択

○平成31年1月31日 反対署名簿(776名：累計7,139名)提出

○令和元年5月27日 反対署名簿追加提出と異動後の挨拶



反対署名簿追加提出242名(累計8,381名)

①岡山県農林水産部治山課
(林地の開発許可をするところ)

②新エネルギー・温暖化対策室
(条例制定するところ)

③岡山県備前県民局農林水産部
(開発許可申請書を受付るところ)

業者の動きはなく、動きがあれば連絡を取り合うことになりました。

<岡山市>に働きかけ

○平成29年 8月17日 反対要望書提出

土砂災害を起こす恐れがある場所への設置反対要望書を提出しました。

○平成29年 9月 8日 反対決議書提出

農林担当者へ太陽光発電所設置計画反対決議書(写し)を手渡ししました。

○平成29年12月26日



岡山市長に

反対決議書(反対署名1,202名：累計2,643名)提出 しました。

○平成30年 6月11日



岡山市議会議長に、居住地の上の里山に大規模な太陽光発電所設置計画が進められていますが、災害リスクが高い里山に開発許可の同意を求められても同意をしないよう陳情しました。



担当局長に**陳情書**(反対署名2,876名：累計6,519名)提出

- 平成30年 6月25日 環境消防水道委員会で陳情書採択
- 平成30年 6月28日 岡山市議会で陳情書採択(全会派一致)
- 平成30年 9月21日 反対署名簿(844名：累計7,363名)提出
- 平成31年 1月31日 反対署名簿(776名：累計7,139名)提出
- 令和元年 5月27日 反対署名簿(242名：累計8,381名)提出
岡山市産業環境局(開発許可への同意するところ)

<町内会>として

- 平成29年7月23日 第一町内会(百田・久田班)で緊急会議
7/15の説明を受け反対署名をすることになる。隣接する町内会(玉南・西町・粟井第二・三)に説明、町内回覧で署名
- 平成29年9月 2日 大井地区連合町内会開催
状況を報告し反対決議書(案)に賛同をいただき各町内の署名を集めることになりました。

○平成29年9月 8日



幟配布と設置(22カ所)

○平成29年11月19日 巨大太陽光発電を考える会学習会



「足守川の水を守る会」のかけ声で開かれました。

反対署名・・・12月半ばまでに

○平成29年12月9日 里山について学習会

講師 元 岡山理科大学学長／自然保護審議会委員 波田善夫 先生



※ 大井地区連合町内会主催で開きました。里山の保水や樹木の伐採により土砂災害が起こる恐れがあることを理解しました。

○平成30年1月13日 第1回経過報告会



連合町内会の主催で平成29年7月15日～平成29年12月26日までの経過について報告しました。

○平成30年1月27日 町内会のサブ会議組織立ち上げ

第1回経過報告の後、行動力のある若い人たちが是非協力したいとのことで組織を立ち上げられました。毎週土曜日開催です。

○平成30年1月28日 栗井第1町内会(百田)で経過報告会

今住んでいる家の場所で立て替えはだめだと言われている。こんな所になぜ計画が進められるのかと強い怒りの声が上がりました。

○平成30年2月3日 太陽光 サブ会議



2月18日(日)足守公民館で開く説明会での資料づくりです。できるだけ分かりやすくするた、プレゼンテーションで画像を見ながら説明をすることになりました。構成についても話し合い、ほぼ一定の方向が決まりました。

○平成30年2月18日 足守学区説明会



集まった人＝山下・余町・岡町内会が中心
(太陽光発電所設置計画地の隣接した町内)
プレゼンテーションにより

太陽光発電所設置計画地、設置された場合の土石流・水害の恐れが、参加された皆さんに十分伝わりました。主催は足守小学区連合町内会
説明は大井地区連合町内会

○平成30年2月22日 北地区防災会議の中で、足守川流域の連合町内会長に「足守地区に大規模な太陽光発電所設置計画」をお知らせしました。

○平成30年3月11日 足守小学校区説明会



若い人たちの手でプレゼンテーションが行われ、これまでに取り組んできた経過や太陽光発電所設置計画の場所、これに伴う災害リスク(設置される周辺区域では土石流、下流域では水害の恐れなど話し、参加された皆さんは水害の恐ろしさを過去の災害の映像を見て理解され、反対署名もしていただきました。主催は足守小学区連合町内会
説明は大井地区連合町内会

○平成30年3月18日 吉備路全山縦走大会コース 反対署名活動



これから縦走される左側が太陽光発電所設置計画地です。歩かれる道はお大師様のコースで、飴・チョコレートでお接待をしました。息を切らせ登ってくる参加者の皆様に署名をお願いしました。

百田の峠と足守小学校の2カ所で402名の方から署名をいただきました。

○平成30年4月5日 地蔵菩薩巡り



子供の頃、お接待をしていただいたコースを思いながら散策しました。今日歩いた道は大井から総社市(奥坂)へ、また、大井から足守(余町)へ往来した道(公道)です。太陽光発電所計画は、参加された外国の人もnoと言われ、自然を壊してまでの太陽光発電所は参加された皆さんが反対でした。

○平成30年4月8日 太陽光発電所設置に反対署名活動



足守洪庵さくらまつりが近水園・足守川河川敷で行われました。テント村の一角で里山にできる太陽光発電所設置計画が土砂災害や水害の恐れが高まることを訴え、署名をお願いしました。

112人の方から署名をしていただきました。

○平成30年4月 太陽光発電建設反対看板設置



隣接している町内の思いを込め、看板を設置しました。4月11日には大分県中津市で住宅の裏山が幅約200メートル、高さ約100メートルにわたり崩れ、二人が埋もれた状態で見つかり死亡が確認されました。私たちの里山も土は真砂土で崩れやすく、こんな思いはしたくありません。関係者に人災を起こすことを強く訴えたい。

○平成30年4月14日 町内会 サブ会議

毎週開催していたサブ会議のこれからの予定を話し合い、隔週の開催としました。

○平成30年4月15日 足守川の水を守る会学習会



足守川の水を守る会主催で学習会が開かれた。

土石流、水害の恐れがあることを事例を見ながら説明が行われました。当面は反対署名に取り組むことになりました。

○平成30年4月29日講演会 みんなの森は みんなで守ろう



講演の前に、足守・大井・栗井地区への太陽光発電計画についてプレゼンテーションをしました。

講師 西垣 誠(岡山大学名誉教授)先生による講演
森はどんな働きをしているのか

日照りが続いても水の量はあまり変わらない

雨水を蓄える・・・森林、伐採後、畑地等比較し雨のしみこみの違いを話された。

広葉樹林 ①根が深く、斜面崩壊を防いでいる

②大木になると風に揺られて斜面崩壊の原因にもなる

③数十年の管理が必要である

④落ち葉が多く、落葉の中に水を含み、緑のダムになっている。

もし森が亡くなれば

- ①降雨は直接、短時間で川に流出する。
- ②鳥類がいなくなる
- ③地表の温度調整機能がなくなる
- ④アメニティの場がなくなる
梅・サクラ・紅葉等の四季折々の花がなくなる
- ⑤CO2の処理の場がなくなる等話を伺いました。

○平成30年4月30日 地蔵菩薩



現地(太陽光発電所設置計画地) 六道峠の近く

今回、大地の再生講座の皆さんの協力で、掘り起こすことが出来ました。地蔵菩薩に24番の番号が彫られていました。

○平成30年5月26日太陽光サブ会議とホタルの里での署名活動



内容 ホームページ作成について
提案のあったホームページ作成、公開
ブログ・・・何のために 動きを知らせたい
報告 アセスの審査会へ傍聴・・・もっぱら行政の説明であった。

足守小学区町内会から反対署名簿をいただきました。

5月28日 森林の伐採と里山の保全 北区栗井 古民家に13時集合

ホタルの里へ会場移動して反対署名活動



↑ ホタルの生態

↑ 地域の説明

里山に太陽光発電所設置計画が進められれば、土石流等の影響でホタルが住めなくなるとホタルの見学者の皆さんに話しかけました。居なくなったら困るなーと設置反対の署名をしていただきました。

○平成30年5月28日 里山を歩く・・・地蔵菩薩・お大師コース



↑講師が研究された話



↑風の剪定



↑土地は根詰まり

○平成30年6月23日大井地区連合町内会:サブ会議

福祉交流プラザ大井18.00~20.55



大塚県議からメガソーラーの状況を聞く
陳情書の扱い(県)

自民農林部会で賛成7 反対2で継続審査になりました。

○平成30年7月6日~8日西日本豪雨



久田 城山の谷間から流れ出た土砂
百田 用水路下が崩れ棚田が崩壊、六谷池管理道崩壊
西町 丹田池 土手の表面が崩れる

←久田

○平成30年8月25日 第2回経過報告会



福祉交流プラザ大井18.30~20.30

会長挨拶のあと活動経過の概要について説明

・ 開発後の影響等 説明をしました。

質疑応答・今後の取組など話し合いました。

約50名の参加がありました。

○平成30年9月24日 7月豪雨で何を学ぶ



足守公民館主催

各町内会会長から豪雨災害の状況、その時どう動いたか報告がありました。この後、地区ごとになって話し合いがなされました。

○平成30年10月6日 足守川周辺の昆虫とホタルの話



福祉交流プラザ大井18.30～22.40

講師 岡山理科大学 中村圭司先生(専門は昆虫)

大規模なソーラー計画地を上空から見た計画地を観ていただきました。

話しの概要

ホタルの種類 日本 20種類
世界 2,800種類

幼虫が水の中で生活するホタル日本 3種類・・・ゲンジボタル・ヘイケボタル・クモジマボタル

○平成30年10月19日 土砂災害防止法説明会



福祉交流プラザ大井18.00～20.30

調査結果、警戒区域と特別警戒区域の説明と災害が起こる前触れと早めの避難について岡山県・岡山市職員による説明がありました。

太陽光発電所計画地の下流は、警戒区域であり特別警戒区域です。

○平成30年11月24日 里山めぐりで自然散策



参加者47名(内子供5人)

AコースとBコースで里山めぐりを開催しました。

太陽光発電所施設計画の周辺とAコースは建設計画地の中を歩きました。

○平成30年12月1日 町内会:サブ会議



[報告事項]11月24日里山めぐり報告

[検討事項]

・HPドメイン契約 里山活性化研究会
(里活)に決まる

・開発教育協会受け入れ等話し合いました

※ サブ会議から里山活性化研究会が名称変更されました。

○平成31年3月24日 桃太郎線LRT化説明会



場所 福祉交流プラザ大井
地元説明会が開かれました。

ポイント

①足守駅の移動(門前)、②運行本数、③人口集積地に駅を新設等の説明でした。

参加者から足守駅の移動場所について、要望が出されました。

○平成31年4月13日 里山めぐりで自然散策



参加者23名(内子供1名)

里山のAコースで自然散策が行われた。

←お大師堂跡地

○平成31年4月29日 第3回メガソーラー反対活動その後報告会



場所 福祉交流プラザ大井 13.00～15.00

約50名の参加をいただき、説明会が開かれました。KSBニュース放送を見た後、計画の概要・開発計画へのリスクと不安・大井地区の活動報告・豪雨災害を振り返って等、プロジェクトにより説明がありました。土砂災害特別警戒区域の里山の上にメガソーラーを設置することがいかに危険か再認識をしました。

活動をしてきた概要報告をさせていただきましたが、リニューアブル・ジャパン株式会社は太陽光発電所施設設置計画を取り止めたとは言われていません。引き続き災害の恐れがある里山に、太陽光発電所施設建設反対活動を続けなければならないと思っています。また、いつ起こるか判らない豪雨・地震に備え、危険な場所・避難経路・避難場所での運営等地域の課題は沢山あります。

「里山活性化研究会」を隔週開き、地域の課題を話し合っています。皆さんも参加し一緒に活動をしませんか。

住みよい地域にするため、これからもよろしくお願いします。

印刷経費を篤志家の方にご協力をいただきました。

ありがとうございました。